

審議会等の会議結果報告書

課所名

地域戦略・男女共同参画課

会議名

第34回諏訪市地域公共交通会議及び第14回諏訪市地域公共交通活性化協議会（書面決議）

決議日

令和6年6月11日（火）

確認者

25名/25名 (敬称略)
【委員】
齊藤敦、小林茂樹、箱山真樹、小松輝男、中林俊尋、新村憲悟、町田正人、白鳥和美、小口かおり、松枝明美、小垣外えり、山崎義夫、宮坂文明、井出成美、藤澤進一、林その子、水垣明美、百瀬加代子、古畑千恵子、柴田裕美、山岸康範、小林保彦、長崎透、小山桂子、金子ゆかり
【交通アドバイザー】
佐々木邦明
（事務局）
前田企画部長、藤森地域戦略・男女共同参画課長、金井地域戦略係長、伊藤主任、長谷川主事

資料

別紙

議議題（内容）及び会議結果（要旨）

1 承認を求める協議事項

(1) 長野県生活交通確保維持改善計画に「諏訪湖周スワンバス（外回り線・内回り線）」を位置付けることについて

承認を求める協議事項

(1) 長野県生活交通確保維持改善計画に「諏訪湖周スワンバス（外回り線・内回り線）」を位置付けることについて

○質疑応答

【委員】

・どうしてスワンバス、かりんちゃんバス 特に湖周から上諏訪駅間は同じような時間で運行されているのでしょうか。

【意向確認書】全員承認により合意

○ご意見等

【委員】

・バス停の看板の大きさ、色、文字などもっと存在感があるようにした方が良いと思う。観光客もターゲットに入れるならばなおのことと思います。

・どういうコースを運行しているのか一度みんなで体験してみるのもいいのではないのでしょうか。

【委員】

- ・生活路線として利用している高齢者にとっては、貴重な公共交通機関である。
- ・免許証返納者にとっても、身近なところで乗降できる交通機関があることは「一人でも移動できる手段がある」という大きな安心感が生じ、生活面の利便性向上と活動意欲の向上に資するとともに地域経済の活性化に大きな恩恵をもたらしている。
- ・コロナ前の利用者数には及ばないが、利用者数はわずかながらでも増加傾向にあり、運行に携わる皆さん達の努力が認められる。

【委員】

- ・地区の民生委員をやっていてよく聞く後期高齢者の一人住まいの方の要望は、買い物、病院、薬局に行く足のことです。諏訪市はタクシー券の発行が年1回ありますが、この発行の制約をもう少しゆるくし、発行枚数を増やせないか。例えば公共交通を使用するとポイントがつき、何点でタクシー券一枚がもらえるなどのシステムソフト開発ができないか。またマイナンバーカードで公共交通を利用できないかなど高齢者の視点に立った公共交通の在り方が今望まれているのではないのでしょうか。